

令和5年第2回(3月)
西原町議会定例会
一般質問通告

質 問 日	質 問 議 員		
3月16日(木) 4人	① 伊 集 悟	② 山 城 勝 貴	③ 儀 間 駿太郎
	④ 屋比久 満		
3月17日(金) 3人	⑤ 前 里 光 信	⑥ 伊 計 裕 子	⑦ 喜 納 昌 盛
3月20日(月) 4人	⑧ 大 城 好 弘	⑨ 大 田 實	⑩ 真 栄 城 哲
	⑪ 宮 里 洋 史		
3月22日(水) 4人	⑫ 新 田 宗 信	⑬ 長 浜 ひろみ	⑭ 大 城 誠 一
	⑮ 仲 松 勤		

※3月17日(金)は、午後1時30分開会です。(小学校卒業式のため午前中休会)

一般質問通告内容(令和5年 第2回定例会)

質問者	① 伊 集 悟 議 員	質問の相手
1. 教育現場での子どもたちのマスク着用について	<p>コロナ禍のマスク着用の長期化で、子ども同士のコミュニケーション不足や発育への悪影響も懸念されるなか、昨年11月末、文科省からの給食時の黙食緩和の通達を受けて、有志議員にて、黙食緩和の適切な実施を申し入れました。</p> <p>また、今年に入り、政府（文科省・厚労省等）及び県教育委員会からのマスク着用の新たな方針を受けて、本町においても卒業式・卒園式、4月以降のマスク着用の取り扱いについて基本的な考え方が示されました。そこで伺います。</p> <p>(1) 本町での給食時の黙食緩和の実施状況について。 (2) 卒業式・卒園式の実施状況について。 (3) 入学式及び新学期以降の対応について。 (4) 保育園、学童クラブ、児童館の対応について。</p>	教育長
2. 教職員の働き方改革・教員不足について	<p>県内では、精神疾患で休職する教員が過去最多の199人、去る1月、県内の小中学校で休職中の担任の代わりが確保できず、児童生徒を他のクラスに振り分けたケースが21件あったとしており、子どもたちへの影響が懸念されます。</p> <p>去る2月、教員免許保持者を臨時的任用職員として教職に就いてもらおうと「ペーパーティーチャーセミナー」を開催、また、県は新年度から教職員のメンタルヘルス対策と働き方改革の強化・推進を目的に「働き方改革推進課」を新設するとしています。あらためて、教職員の働き方改革が必要急務だと感じています。そこで伺います。</p> <p>(1) 本町では、担任が確保できず、他のクラスに振り分けたケースはあったか。 (2) 新年度の教員確保の状況について。 (3) 新年度の働き方改革の取り組みについて。</p>	教育長
3. 生徒指導提要（改訂版）の活用について	<p>昨年12月、文科省は、児童生徒への指導の在り方を示した教員用の手引書「生徒指導提要」を12年ぶりに大幅に見直した改訂版を全国の自治体に通知しました。改訂版のポイント及び今後、各学校でどのように活用してくのか伺います。</p>	教育長

教育長

4. 学校図書
の整備充実
について

近年の学校図書室は、「読書センター」、「学習・情報センター」の機能・役割として期待されています。

昨年、文科省は第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」（26年度まで）策定しました。そこで伺います。

- (1) 小学校及び中学校の新聞の複数紙配備について。
- (2) 本町は財政難を理由に平成30年から学校図書購入費の大幅減額が続いています。減額前の平成29年度の図書購入費及び令和5度の図書購入費について、小学校、中学校それぞれ伺います。

町長

5. 本町のふるさと納税
の現状と課題
について

本町のふるさと納税については、本町に入ってくる寄附額と出ていく寄附額の収支が令和2年から黒字に転じ、本町への寄附額も年々増加しています。

次年度の施政方針では、トップセールスを行い「ふるさと納税の寄附額の拡大を目指す」としています。そこで伺います。

- (1) 令和3年及び令和4年の寄附件数と寄附額、町民による他自治体へ寄附件数と寄附額、住民税控除額、返礼品の経費、地方交付税の補填額並びに収支について。

※(1) 資料提供希望

	西原町への寄附額①		西原町民の他自治体への寄附額		住民税控除額②
	件数	金額	件数	金額	
令和3年					
令和4年					

	<table border="1" data-bbox="368 201 1198 622"> <tr> <td data-bbox="368 201 533 394"></td> <td data-bbox="533 201 783 394">返礼品経費（調達・発送・広告費・事務費等） ③</td> <td data-bbox="783 201 991 394">減収額に対する地方交付税の補填額 (75%) ④</td> <td data-bbox="991 201 1198 394">差引収支額 ①-②-③+④</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 394 533 510">令和3年</td> <td data-bbox="533 394 783 510"></td> <td data-bbox="783 394 991 510"></td> <td data-bbox="991 394 1198 510"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 510 533 622">令和4年</td> <td data-bbox="533 510 783 622"></td> <td data-bbox="783 510 991 622"></td> <td data-bbox="991 510 1198 622"></td> </tr> </table> <p data-bbox="384 674 1238 857">(2) 令和4年の目標達成状況、取り組みの成果と課題について。 (3) 令和5年のふるさと納税の目標及び達成に向けて、どう具体的に取り組むのか。</p>		返礼品経費（調達・発送・広告費・事務費等） ③	減収額に対する地方交付税の補填額 (75%) ④	差引収支額 ①-②-③+④	令和3年				令和4年				
	返礼品経費（調達・発送・広告費・事務費等） ③	減収額に対する地方交付税の補填額 (75%) ④	差引収支額 ①-②-③+④											
令和3年														
令和4年														
質問者	② 山城勝貴 議員	質問の相手												
1. 福祉のまちづくりについて	<p data-bbox="368 1028 1238 1115">令和5年度の施政方針で示されている「健康と福祉のまちづくり」について以下の点を伺います。</p> <p data-bbox="384 1173 1238 1447">(1) 介護保険広域連合において、令和5年度の施政方針では地域支援事業の推進、地域包括ケアシステムの深化・推進とあります。町長の施政方針においても、本町に適した地域包括ケアシステムの構築に努めるとあります。構成市町村である西原町の具体的な取り組み状況について伺います。</p> <p data-bbox="384 1462 1238 1688">(2) 西原町の地域生活支援事業の目標として、①健康で自立した高齢者が増える。②虚弱高齢者が再び元気になる。③認知症になっても安心して暮らせる。の三項目を挙げていますが、具体的にはどのような取り組みを行っていくのか伺います。</p> <p data-bbox="384 1704 1238 1975">(3) 認知症、知的障がいその他の精神上的の障がいがあることにより財産の管理や日常生活等に支障がある人たちが社会全体で支え合うことが、高齢社会における喫緊の課題であり、共生社会の実現には必要であると考えます。高齢者や障がい者の権利擁護のための日常生活支援事業の利用状況と成年後見制度利用状況について伺います。</p>	町長												

<p>2. 町道棚原1号線について</p>	<p>(4) 第一次西原町地域福祉計画が策定され、評価が行われているかと思えます。地域福祉計画策定前後ではどのような変化、効果があったか、どのような課題が上がったか、次年度はどのような事業に取り組むのか伺います。</p> <p>(5) 障がい者（児）福祉に関して自立支援協議会が設置されていますが、自立支援協議会と町との連携状況について伺います。</p> <p>町道棚原1号線について、現在の進捗状況、今後の工程について伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 安全で優しいまちづくりについて</p>	<p>令和5年度の施政方針では「安全で環境に優しいまちづくり」として交通安全施設の整備と安全教育の推進が掲げられています。地域には劣化し、見えなくなってしまった横断歩道などの道路表示が散見されます。棚原区においても棚原区内から県道那覇北中城線と接する道路（町道翁長・棚原線）にある横断歩道が劣化で消えてしまっており、登下校の時間帯で子どもたちが往来する際に危険を感じるがあります。そこで伺います。</p> <p>(1) 劣化した道路標識、表示等の把握状況と対策について伺います。</p> <p>(2) 交通安全思想普及・浸透の為の取組みについて伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 西地区土地地区画整理事業について</p>	<p>西地区土地地区画整理事業について、マックスバリュー移転とあわせて、県道那覇北中城線の工事も段階的に進み、目に見える形で工事が進んでいる状況があることで地域の関心が高まっていることを感じます。そこで伺います。</p> <p>(1) 昨年の9月議会でも確認した社会資本整備総合交付金への移行について結果を伺います。</p> <p>(2) 県道や西地区の工事の進捗と共に渋滞の問題が大きくなってきています。以前は棚原区から坂田交差点を經由せずに徳佐田区に抜ける生活道路がありました。生活道路、渋滞の対策について伺います。</p>	<p>町 長</p>

	<p>(3) 12月の補正予算を活用した造成箇所、及び次年度の造成箇所、供用開始可能な区画、保留地の処分の進捗について伺います。</p> <p>(4) 6月に提案させて頂いたイメージパースや計画人口などの情報発信について進捗を伺います。</p>	
質問者	③ 儀 間 駿太郎 議員	質問の相手
1. 令和5年度施政方針について	<p>令和となって早くも5年もたちます。コロナも次年度から指定感染症5類相当に引き下げられ、以前のような社会に戻るかと思えます。そのような中、町長が掲げた令和5年度施政方針の中から質問します。</p> <p>(1) 「西原町デジタル田園都市国家構想総合戦略(仮)」を掲げるとありますが、具体的な内容をお聞かせください。</p> <p>(2) 町公式LINEを活用し情報発信を行うとあるが、今後の運用方法はどのように考えているのでしょうか。</p> <p>(3) 生涯学習に関して、現在行われている講座等の内容・種類についてお聞かせください。</p> <p>(4) プロサッカーチームによるキャンプについて、本町の関わりと見解をお聞かせください。</p>	町長 教育長
2. 防災について	<p>昨今、日本各地・世界各国で大規模な災害が起きている状況です。防災については、常に高い意識で取り組んでいかなければならないと思えます。そこで、以下について伺います。</p> <p>(1) 本町の災害避難所の数と災害避難所のインターネット環境はどの様になっているのでしょうか。</p> <p>(2) 沖縄県防災ヘリ導入に関して、本町の関わりと東部消防との連携はどの様になっているのでしょうか。</p> <p>(3) 本町の避難行動要支援者名簿は、しっかり作成されているのでしょうか。</p>	町長
3. 保育士・教員不足への対応について	<p>沖縄県では保育士の不足だけではなく、教員不足も大きな課題としてあげられている現状があります。そこで、以下について伺います。</p>	町長

<p>4. 本町の各種計画・アンケートについて</p>	<p>(1) 現在の保育士不足・教員不足についてどの様に考えているのか。また、原因はどの様に考えているのでしょうか。</p> <p>(2) 保育士・教員のメンタルヘルス対策が必要かと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>本町では、様々な計画や町民へのアンケート等を行なっているかと思えます。そこで、以下について伺います。</p> <p>(1) 西原町まち・ひと・しごと創生総合戦略が令和5年度より見直しされると思うが、現在どのようになっているか。</p> <p>(2) 各種アンケートを実施する際、どの様な意図を持ってアンケートやパブリックコメントを募り、その声をどの様に各種計画や戦略に活かしているのか。</p>	<p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>④ 屋比久満議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 施政方針について</p>	<p>(1) 町長は、令和5年度の施政方針を述べ、町長にとって就任から3度目の施政方針となりますが、令和4年度に掲げたトップセールスによる公約について、成果・進捗等、以下について伺います。</p> <p>ア.「行財政健全化のために」これまでの成果や進捗をお聞きします。</p> <p>イ.「子ども達の未来の為に(安心して子どもを産み育てられるまちづくり)」これまでの成果や進捗をお聞きします。</p> <p>ウ.「明るいまちづくりのために(だれもが住みやすい教育・福祉のまちづくり)」これまでの成果や進捗をお聞きします。</p> <p>エ.「平和の実現のために」これまでの成果や進捗をお聞きします。</p> <p>(2) 令和5年度に医療保険事業の推進で、国民健康保険について、「西原町国民健康保険特別会計の累積赤字解消計画(第四次改訂)」とありますが、以下について伺います。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 施設管理について</p>	<p>ア. 現在の累積赤字額をお聞きします。 イ. 累積赤字額は、何年後に解消予定かをお聞きします。 ウ. 国民健康保険料の見直しがあるのか。あれば何年度に改定するのかを伺います。</p> <p>(1) 西原町パークゴルフ場が停電して、利用者からトイレが使用できず大変不便をきたしているとの苦情がありましたが、以下についてお聞きします。 ア. いつから停電しているかをお聞きします。 イ. 停電の原因と、復旧のめどをお聞きします。</p> <p>(2) 西原児童館の道路を照らしている水銀灯も球切れして暫くなります。地域の住民から要請があったと思うが、水銀灯を交換してないのはなぜなのかお聞きします。</p> <p>(3) 以前、我謝公民館前の町道に歩道が無く、子どもたちの通学路が大変危険で危ないと一般質問しました。町当局は対応するとの返答があったが、未だ整備されてない。見解をお聞きします。</p> <p>(4) 東崎から国道329号線の我謝交差点に向かう車が青信号の際、東崎側の町道から猛スピードで横切るので、危険だということで地域住民から要請がありました。同町道は子供たちの通学路であるが、両サイドに歩道もないため、路面にひし形表示や、路側帯にポールを設置ができないかお聞きします。</p>	<p>町 長 教育長</p>
<p>3. 市街化区域について</p>	<p>令和5年に市街化調整区域から市街化区域が拡大されると聞いているが、以下について伺います。</p> <p>(1) 西原町は、何h aに拡大されるのか。また、実施時期をお聞きします。 (2) 住民説明会を開催したと思いますが、地域住民の反応についてお聞きします。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 農地について</p>	<p>農地の下限面積の撤廃について、以下を伺います。 (1) 下限面積を撤廃する理由をお聞きします。</p>	<p>農業委員会 長</p>

	(2) 西原町の下限面積は、現在30aと思いますが、撤廃されるとどう変わるのかお聞きします。	
質問者	⑤ 前里光信 議員	質問の相手
1. 町政運営について	<p>(1) 「いいあんべー共生事業」について この事業は、私が財務厚生常任委員長の際、読谷村のトケシ自治会に7名の議員が行き、講習を受けて、西原町に導入した事業です。今では、町内のほとんどの(自治会で活用されている現実をうれしく受けとめております。現状についてご説明を求めます。</p> <p>(2) 東部消防西原分署について、造り替えの時期にきていると思うが、そのことはどのような計画になっているか。</p> <p>(3) パークゴルフ場は、一部活用停止になっていると解している。いつ頃までに完全な状況になるか。</p> <p>(4) 町民の大きな課題になっている火葬場建設について、町長の見解を問う。</p> <p>(5) 町内のPFOSのしっかりした調査は今、どのようになっているか。(県の調査は?)</p> <p>(6) 町長のトップセールスによる財政健全化は、これまでの実績はどうなっているか。そして今後は。</p> <p>(7) 「文教のまち」と定義して久しくなるが、沖縄キリスト教学院大学の入り口あたりは、一般の人にはわかりにくいびつな三叉路になっている。町道でもあり、大学と連携し改善したほうが良いと思いますが、町当局はどのような考えを持っているか。</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p> <p>町長</p>

2. 教育行政について	<p>(1) 西原町立南小学校は、正規の校区内の生徒が少なく、校区外を受け入れているから学級が成り立っていると解す。今後どのような対応を考えているか。</p> <p>(2) 町内の生徒の学力向上について特別支援学級の生徒も含め、今後どのように対策を考えているかお聞きします。</p>	教育長
質問者	⑥ 伊 計 裕 子 議 員	質問の相手
1. 平和行政について	<p>岸田政権は、昨年12月16日、安保3文書を閣議決定。国会でまともな論議もせず、国民にも説明せず勝手に、安全保障に関わる重大な政策転換をしました。安保3文書は、先制攻撃を禁じた国際法にも、「専守防衛」という日本の基本的立場にも反する「敵基地攻撃能力」保有を明記。安保法制のもと、集団的自衛権の一環として「敵基地攻撃」ができるとされ、日本が攻撃されていなくても、自衛隊が米軍と共に他国に攻め込みます。岸田首相は、選挙で国民に信を問うことも、国会や国民に説明することもなく、アメリカのバイデン大統領との会談で、安保3文書に基づく軍事費の大幅な増額、その財源確保のための増税の予算案を掲げ、まっ先にバイデン大統領に報告し称賛されたと成果を強調。通常国会での施政方針演説では、優先されるべきは積極的な外交の展開と述べながら、外交の基軸は日米関係だと述べ日米同盟の強化と合わせて、県民の民意を無視して、基地負担にも引き続き取り組み辺野古への移設工事を進めるとしています。国会での質問では、反撃能力（敵基地攻撃能力）の保有、南西地域の防衛体制の抜本強化などに5年間で43兆円もの予算を確保するなど大軍拡を主張し安全保障政策の大転換だとしながら、憲法、国際法の範囲内で行うものであり、非核三原則や専守防衛の堅持、平和国家としてのわが国のあゆみをいささかも変えるものではないと、明らかに矛盾することを平気で答弁。軍備拡大をすれば軍拡競争にしかありません。アメリカが戦争を始めれば、自衛隊が米軍とともに相手国を攻撃する危険を著しく高めます。それは、日本、特に沖縄が、報復攻撃され戦場となる可能性が大きくなります。町民の命と暮らしを守り、二度と沖縄を戦場にさせないための町長の決意を伺います。</p>	町長

<p>2.教職員の働き方について</p>	<p>2021年度の文科省の調査で、子どもの不登校と精神疾患を理由とした教員の休職がともに過去最多を更新。子どもへのきめ細かな支援のためにも、教職員の異常な長時間労働の解消に向けて教職員定数の大幅増が切実に求められています。岸田政権は23年度予算案で公立小中学校の教職員定数を2474人減としました。12年以降の定数減の合計が約3万人を突破しようとしています。大軍拡予算のほんの一部を回すだけで、定数減から大幅な定数増への転換は十分可能です。国に対して声を上げるとともに、自治体としての支援が求められています。そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 3年ないし5年間で1カ月以上の病休者数。 (2) その要因と対策。 (3) 「令和4年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」が昨年12月に公表されています。かなり頑張っていると思いますが、学校によって、ばらつきがあると聞いています。各学校の学校運営協議会や地域学校協働本部事業の役割について伺います。</p>	<p>教育長</p>
<p>3.デジタル田園都市国家構想について</p>	<p>施政方針にあります「西原町デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」の策定について詳しくお聞かせください。</p>	<p>町長</p>
<p>4.耕作放棄地対策について</p>	<p>一昨年の12月議会で、耕作放棄地対策として、ソーラーシェアリングについて取り組みたいとの答弁でしたが、その後の状況をお知らせください。</p>	<p>町長</p>

質問者	⑦ 喜納昌盛 議員	質問の相手
<p>1. 町長の令和5年度施政方針について</p> <p>2. 町政について</p>	<p>(1) 4つの基本理念を掲げて町政運営を進めていくとしているが、その理念に基づく具体的な施策は何か。</p> <p>(2) 国策である「デジタル田園都市国家構想」のもと、西原町は「西原町デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」を策定するとあるが、その中身は。政府は「新しい資本主義」実現に向けた成長戦略、デジタル社会の実現に向けた重要な柱と位置づけているが、それが地方創生にどう役立つと考えるか。又、地方創生関連交付金等の予算額は提示されているのか、そして、どのような事業を予定しているのか。</p> <p>(3) 中央公民館再整備事業の次年度のスケジュールはどうなっているのか。</p> <p>(1) 財政シミュレーションと対策の見直しはどうされたのか。</p> <p>(2) 「上原地区キャンパス跡地利用推進協議会」の次年度の予定はどうなっているのか。</p> <p>(3) 学校現場の教員不足、業務過多等の問題の解決策が中々見いだせない状況が続いている。教育委員会は、これまでどう対応し、今後どう対策を講じるか伺いたい。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>教育長</p>
質問者	⑧ 大城好弘 議員	質問の相手
<p>1. 執行体制について</p>	<p>令和5年度の施政方針と執行体制、人事体制、新規事業等、特に重要な政策について町長に見解を伺う。</p> <p>(1) 財政の状況（国保赤字額）について。</p> <p>(2) 職員人事体制について。</p> <p>(3) 新規事業の取組みについて。</p> <p>(4) 三年目を迎え公約の達成状況について。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 認定こども園について</p> <p>3. 道路事業について</p>	<p>坂田こども園について</p> <p>平成27年度学校教育法等関係する法律が改正され、小中学校一貫した義務教育9年に制度化された。同時期に幼稚園は幼保一元化として認定こども園が法制度化されてきた。現行の幼稚園の業務が半日（午前中）のため保護者対応が難しく長年の懸案事項として議論され、その解消のため、こども園への移行が行われる。以下について問う。</p> <p>(1) 坂田幼稚園をこども園に移行する問題点について聞く。</p> <p>(2) 保護者、地域住民への周知、説明について。</p> <p>(3) 職員の人事異動について。</p> <p>(4) こども園の事務内容について。</p> <p>(5) 法人と本町との業務締結について。</p> <p>国道329号与那原西原中城線について、昨年12月に南部国道事務所は杭打ちをするため、地権者、事業者に対し、さわふじ未来ホールにて説明会を実施している。以下について問う。</p> <p>(1) 国道バイパスの事業計画年度について。</p> <p>(2) 総事業費について。</p> <p>(3) 今後の進捗について。</p> <p>(4) 立ち退き、移転に伴う工業用地の面積、整備等について本町の取組みと進捗について。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑨ 大田 實 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 内間御殿の復元について</p>	<p>内間御殿は、皆さんご承知のように、内間金丸が内間地頭に任ぜられた時の旧住宅跡に、尚円王没後190年後に建てられた神殿です。2011年に国指定された史跡で、復元委員会も20年前に設立されたと思いますが、なかなか進捗がみられません。西原町では、唯一の国指定文化財また琉球国王の旧住宅で、後に内間御殿として名を轟かせた格調高い史跡です。もう少し復元の進捗を速められないか問う。</p>	<p>教育長</p>

<p>2. 学校給食費の補助について</p> <p>3. 仮ナンバー窓口貸出しについて</p> <p>4. 町道整備事業について</p>	<p>少子化対策、保護者の経済的負担を軽減する全児童の学校給食費の補助、また第3子からは無料にすることは可能か問う。</p> <p>車検切れ等の車両を一時的に、公道を走行できる仮ナンバーの貸出制度が導入可能か問う。</p> <p>兼久給油所からコープおきなわ向け、特に兼久349番地辺りからは側溝が無く、また幅員が狭隘となっているが、道路整備事業予定はあるか問う。</p>	<p>教育長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑩ 真栄城 哲 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 財政運営について</p> <p>2. 水道料金について</p>	<p>(1) 本議会に、令和5年度西原町一般会計予算案が提出され、過去最大の131億3千万円の予算となっている。以下の件を伺う。</p> <p>ア. 町長は、今回の予算案をどの様に捉えているのか。また、将来にむけて持続可能な財政基盤を整えることができるのか。</p> <p>イ. 町長は、施政方針の中で“トップセールス”により、西地区や都市基盤整備について、国や県への要請行動に取り組む。また、企業誘致や町内雇用の拡大により、新たな財源確保を図る。さらに、ふるさと納税の拡大に取り組むとしている。これらの取り組みについて、具体的な説明を求める。</p> <p>(2) 近年の予算の特徴として、扶助費の伸びが顕著である。今後も加速的に増えることが予想されるが、将来的なシミュレーションで、今後どの程度（予算額）増えていくと試算しているのか。</p> <p>沖縄県企業局は、沖縄電力が4月から電気料金を大幅に引き上げる方針であることを受け、水道料金の値上げも検討している。以下の件を伺う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

<p>3. 公共下水道事業について</p> <p>4. 国道329号西原バイパス整備事業について</p>	<p>(1) この件に対して、企業局側から具体的な説明はあったのか。</p> <p>(2) 仮に企業局が水道料金を値上げした場合、本町は町民生活に直結する水道料金の値上げを行うのか。</p> <p>公共下水道国庫補助金が5年後に打ち切られる。当該事業整備の進捗は半分程度で、今後は、より一層の資金計画や整備計画の構築が求められる。以下の件を伺う。</p> <p>(1) 新たな資金計画を伺う。</p> <p>(2) それに伴う整備計画を伺う。</p> <p>国道329号西原バイパス整備事業に伴い、本町は企業の移転先の面整備を進めなければならない。以下の件を伺う。</p> <p>(1) 本町の計画、国道との協議はどの様に行われているのか伺う。</p> <p>(2) 当該整備計画においての課題を伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑪ 宮 里 洋 史 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 文化継承について</p> <p>2. 子育て支援について</p> <p>3. デジタル化へ向けて</p>	<p>昨年12月に行われた西原まつりは大変好評であった。そして、次年度も開催予定していることに町民の一人としてワクワクしている。今回のミニマムで行ったまつりは、伝統芸能お披露目の場をつくり次世代へ継承をしていく目的もあった。町長の見解を伺う。</p> <p>子育て支援は、どの時代でも大変重要である。新生児や若年出産は、特に行政としてもサポートを充実していきたいところだと認識している。こんにちは赤ちゃん事業の内容と目的・効果を伺う。</p> <p>施政方針にもあるように、デジタル田園都市へ向けて、本町も本格的に始動していく年であると考え。ソフトウェアのサブスクリプション化に対応する PC 関連予算や公共施設のオンライン予約・議場での執行部の PC 持ち込み等確認、実行してほしいがどうか。まずは方針が必要と考えるが、どのように進めていくか伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

	<p>3 認可地縁団体としての役割について (1) 認可地縁団体としての役割について見解を伺う。 (2) 認可地縁団体の規約改正について重要性を伺う。</p> <p>4 自治会所有の共有名義について (1) 自治会への名義変更はどの様に行われるか。 (2) 政府の通達等による自治会に関する情報の共有は、どのようなに行っているか。</p> <p>5 消防、防災体制等の確立について、地震、津波等における災害対策についての見解を伺う。</p> <p>6 公共施設の維持管理及び使用料等について、屋外バスケットボール場の使用料と、周辺施設との関連を伺う。</p> <p>7 情報公開について (1) 今回の改正に伴う違いを求める。 (2) これまで開示請求ができたものが出来なくなることがあるならば、その根拠を求める。</p> <p>8 その他、町政全般について (1) 下限面積撤廃に伴う農業従事者の確保について伺う。 (2) 町道面積における取得率と対策を伺う。 (3) 本町における城ロードの整備計画を伺う。 (4) 本町出身の偉人、平良幸一先生や金秀グループ創業者 呉屋秀信先生の痕跡を広く町民に知ってもらうために、何らかの形で伝える方法を行う必要があると思うが見解を伺う。 (5) 民生委員児童委員協議会の予算措置に伴う配分について見解を伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>農業委員会 長 町 長</p>
--	--	---

質問者	⑬ 長 浜 ひろみ 議員	質問の相手
1. 施政方針より	<p>(1) 高齢者の加齢性難聴者補聴器購入補助について</p> <p>ア. 周知方法と申請について伺う。</p> <p>イ. 上限額を聞く。</p> <p>(2) おたふく風邪予防接種について</p> <p>ア. 対象年齢を伺う。</p> <p>イ. 1回接種か2回接種か伺う。</p> <p>ウ. 定期接種になるのか伺う。</p>	町 長
2. 子育て支援について	<p>(1) 待機児童解消に保育ママを活用してはどうか伺う。</p> <p>(2) 保育士確保について現状と対策を伺う。</p> <p>(3) 認定こども園における子育て支援事業について</p> <p>ア. 駐車場について伺う。</p> <p>イ. 周知について伺う。</p> <p>ウ. 行政は協力や助言や指導は行えるのかについて伺う。</p> <p>(4) 伴走型子育て支援のアンケートについて</p> <p>公明党は「子どもの幸せを最優先する社会」をめざし、子どもの年齢に応じた切れ目ない支援策を講じるため、昨年11月に「子育て応援トータルプラン」を発表し、2022年度第2次補正予算や2023年度予算案に反映されています。一部施策を含め以下伺う。</p> <p>ア. 妊娠届やアンケートをはじめとした申請は、オンラインでできないか。</p> <p>イ. ホームページから、妊婦向け（8ヶ月）アンケートと妊娠届けができないか。また、新生児訪問時に、事前アンケートと子育て応援ギフトの申請ができないか伺う。</p>	町 長
3. 町民の利便性向上について	<p>(1) 自治体DXの取り組みとして「書かない窓口」「持たない窓口」「行かない窓口」を実施する自治体や、これから取り入れる自治体が増えてくると予想されます。本町での検討について伺う。</p> <p>(2) 女性活躍の推進、就労支援の観点から、リスキリング支援について見解を伺う。</p>	町 長

<p>4. 新型コロナ感染症について</p> <p>5. 町民相談から</p>	<p>コロナ罹患者の後遺症や社会復帰に向けた相談体制の構築を図るべきだと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1) 男性トイレの入口又は個室ドアに、サニタリーボックス設置の表示はできないか。</p> <p>(2) 女性トイレのドアに設置された荷物かけの位置が高く、もう一つ低めの荷物かけの要望があるが、設置できないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑭ 大 城 誠 一 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 認定こども園の運営状況について</p> <p>2. 若者就業支援プログラム補助事業の導入について</p>	<p>公私連携幼保連携型認定こども園坂田こども園運営状況について伺います。</p> <p>(1) 坂田こども園利用案内によると利用定員は、5歳児3クラスで90人、4歳時1クラスで30人、3歳児1クラス15人となっている。それぞれの入園児の人数は。</p> <p>(2) 利用定員に見合った保育教諭等の確保状況は。</p> <p>(3) 特別支援教育についてもこれまで通りの実践となるか。</p> <p>(4) 基本協定書の締結日及び有効期間は。</p> <p>この補助金は、一般社団法人沖縄産業開発青年協会青年隊へ入隊される者へ、資格取得のための受講及び実技指導等に要する費用を補助するものです。</p> <p>沖縄市では、貧困の連鎖を断ち切るため経済的に困窮する若者に対し、就業する際に有利となる資格取得にかかる費用について補助し、就業の機会を拡大・創出するとともに、失業率の改善を図るとしており、生活保護世帯や市県民税非課税世帯に属するもの等へ費用(650,000円)の全額か半額を補助するとある。</p> <p>貧困の連鎖を断ち切るとともに失業率の改善を図る手立てとして有効であると考え。経済的に困窮する若者を対象にこの事業の導入を提案する。町長の見解を伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

3. 地方創生の取り組みについて	町長は、令和5年度施政方針の中で、町では新たに「西原町デジタル田園都市国家構想総合戦略(仮称)」を策定し、地方創生関連交付金等を積極的に活用しながら、各種事業を積極的に展開するとあるが、どのような事業を予定しているのか伺う。	町長
4. 西原まつりの開催について	今5年度も一般会計予算案に西原まつり運営事業が計上されている。従来は隔年で開催されていたが、どのような経緯で開催することになったのか伺う。	町長
5. 町道我謝小波津線道路の危険箇所改善について	令和3年3月定例議会において、建設部長は、町道我謝小波津線我謝53番地付近の道路幅員が狭いため、道路幅員を1ないし2メートル程度拡幅する必要があると答弁している。しかし、これまで何ら対策をせずに放置されているが、町の見解を伺う。	町長
6. 中学校部活動指導員配置事業について	今年度新規事業に、中学校部活動指導員配置事業の取り組みがある。事業の詳細について伺う。	教育長
質問者	⑮ 仲松勤議員	質問の相手
1. 給食費の無償化について	県市長会会長桑江朝千夫沖繩市長は、那覇市内で定期総会を開き「玉城デニー知事が昨年の知事選で公約とした学校給食費無償化を、2023年度から実現するよう要請する決議を全会一致で可決した」とされている。また決議では、玉城知事の掲げる「学校給食費無償化」の公約はまさに切実な願いであり、早期の実現に県民から大きな期待が寄せられている。さらに、全額県費負担による学校給食費無償化の一刻も早い公約実現されるよう強く要望すると述べられている。また桑江市長は加えて、「子育て支援に地域格差が生じないよう全県一応の対応」についても注目しています。我が町においても、町長や教育長には、全力で学校給食の無償化の実現に向け取り組んでもらいたいと強く要望します。	教育長

<p>2. 都市基盤施設の整備について</p>	<p>(1) 市長会での決議について、町長の見解を問います。</p> <p>(2) 西原町の子供たちのため、県知事に対しての要請を行う予定はありますか。</p> <p>(1) 町長所信で、コロナウイルス感染症で長期的に続いた打撃が、今なお深刻に町民生活に不安を残している。一刻も早い経済・社会生活の回復のためにもトップセールスによる財政健全化を目指すとのことですが、自主財源の確保は重要であると考えます。財源確保は、住民税・固定資産税等の増収確保です。人口増に向け、より一層の政策取り組みが必要です。今回、那覇広域都市計画用途地域の変更に伴い、宅地開発等の早期推進を強く要望します。</p> <p>ア. 那覇北中城線沿道 幸地地区（面積約 23.5ha）</p> <p>イ. 浦添西原線翁長地区（面積約 46.7ha）</p> <p>ウ. 国道 329 号内間・掛保久地区（面積約 32.6ha）</p> <p>エ. 小波津・桃原・安室地区（面積約 33.8ha）</p> <p>オ. 兼久地区（面積約 7.8ha）</p> <p>ア～オの土地用途について、これまでの状況やどのような土地活用となる予定かについて、それぞれ道路計画・宅地開発計画について問います。</p> <p>(2) 新たな工業地域確保のために</p> <p>国道 329 号西原バイパスの整備に伴い、移転を余儀なくされる企業の移転先確保に向け、工業用地拡大への予定エリアや用途変更等タイムスケジュールについて問います。</p> <p>(3) 西地区土地区画整理事業について</p> <p>ア. 推進計画とその課題を問います。</p> <p>イ. 終了までの予算計画を問います。</p> <p>ウ. 徳佐田地区、幸地地区への計画推進について、その課題を問います。</p> <p>(4) 小那覇兼城原・仲伊保原の道路拡張・排水事業についての推進状況を問います。</p>	<p>町 長</p>
-------------------------	---	------------

3. 農業振興について	<p>(1) 農地の下限面積の撤廃は、今後の西原町の農業政策への関わりがあると思います。農業委員会の見解を問います。</p> <p>(2) これまで下限面積があったことによって、農業の振興や活性化につながっていたと思われませんか。</p> <p>(3) 下限面積が撤廃されたことで、担い手の育成、新規就農者育成にどのような課題が生じますか。</p>	農業委員会 長
4. 環境保全対策（火葬場整備）について	<p>近年の火葬の待機日数長期化に対する社会問題に対応するため、議会でも火葬場建設に伴う委員会が設置、開催されています。町長においても、火葬場に関する整備方針の検討を行う基礎的な調査に乗り出すとの事ですが、建設までの課題を問います。宜野湾市は、今年度住民の火葬料補助事業のため、1人15,000円を予算化することを決定しています。宜野湾市も火葬場がなく葬儀までの日数が重むことで、このような措置となったようです。一方で独自の火葬場建設を目指すとのことです。西原町においても、町民の負担軽減策として火葬料の補助を強く要望したい。</p>	町 長
5. 沖縄振興特定事業推進費獲得でより良い町づくりを	<p>県と市町村の2023年度の一括交付金が減額する中、地域行政からの国への要請活動で国直轄の交付金（沖縄振興特定事業推進費）は、各市町村に年々増額予算が充てられています。我が町においても必要な交付金であると考え、ぜひ確保に向け取り組んでいただきたいと思います。町長の見解を問います。</p>	町 長
6. 教育環境の充実について	<p>環境省の補助事業活用で、レジリエンス強化型2EB実証事業（西原東中学校空調設備設置工事）が総工費約3億5,100万円、環境省から約2億440万円、自己資金は事業債（借金）で約1億4,700万円とのこと。以下について問う。</p> <p>(1) 補助事業の根拠法は。</p> <p>(2) 工事内容の具体的な予算案は。</p> <p>(3) 発注方法及び事業スケジュールは。</p> <p>(4) 災害発生時の対応とは。</p>	町 長 教育長